Reio 71550ciatea Reposit	ory of Academic resouces		
Title	高齢期の健康と幸福感の予測要因の検討:ソーシャル・キャピタルの視点から		
Sub Title	Effects of social capital on health and well-being among older adults		
Author	高山, 緑(Takayama, Midori)		
Publisher	慶應義塾大学		
Publication year	2018		
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)		
JaLC DOI	,		
Notes	本研究課題では、高齢期の健康、well-beingに対してソーシャル・キャピタルが与える影響とそのメカニズムを解明することを目指している。本年度は約1400名(ベースライン時)の高齢者データベースを用いて、第1に個人のソーシャル・キャピタルが高齢期の健康、well-beingに対してどのような影響を与えるのか多面的に同らかにすること、第2に地域レベルのソーシャル・キャピタルと個人レスルのソーシャル・キャピタルがwell-beingへ与える影響を明らかにするため、マルチレベル分析によるデータ解析を進めた。また、量的データによる分析だけでは捉えきれないソーシャル・キャピタルの影響のメカニズムや個人差を検討するためにインタビュー調査を実施し、テキストマイニングのソフトを使用して、質的データの解析を進めた。分析の結果、主に以下のことが明らかになった:(1)ソーシャル・キャピタルとコミュニティ感覚(地域に対する変養等)は高齢期の健康を促進する効果があること、(2)ソーシャル・キャピタルはコシュニティ感覚を強介して、高齢期の生活満足感や人生満足度の上昇にも寄与していること、(3)このメカニズムは年齢群に関わらず一貫しているが、より高齢になるほどソーシャル・キャピタルが影響がある。と、(4)ソーシャル・キャピタルがwell-beingに影響を与えるメカニズムには性差があること、(5)個人レベルのソーシャル・キャピタルが影響が高まること。(6)リーシャル・キャピタルが変響が高齢の変異があること。(6)リーシャル・キャピタルが成場であるが、(6)ソーシャル・キャピタルが成場であるが、カリーのでは、またいでは、大きないないでは、大きないないでは、大きないないでは、大きないないでは、大きないないでは、大きないないないないでは、大きないないでは、大きないないないないないないないないないないないないないないないないないないない		
	Research Paper		
Genre			
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000002-20170344		

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2017 年度 学事振興資金(共同研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	理工学部	職名	教授	補助額	1,920	千円
研先代表名 	氏名	高山 緑	氏名 (英語)	Midori Takayama			713

研究課題 (日本語)

高齢期の健康と幸福感の予測要因の検討:ソーシャル・キャピタルの視点から

研究課題(英訳)

Effects of social capital on health and well-being among older adults

研究組織				
氏 名 Name	所属・学科・職名 Affiliation, department, and position			
高山緑(Midori TAKAYAMA)	理工学部·外国語·総合教育教室·教授			
新井康通(Yasumichi ARAI)	医学部・百寿総合研究センター・専任講師			
新村秀人(Hidehito NIIMURA)	医学部·精神神経科学教室·専任講師			

1. 研究成果実績の概要

本研究課題では、高齢期の健康、well-being に対してソーシャル・キャピタルが与える影響とそのメカニズムを解明することを目指している。本年度は約1400名(ベースライン時)の高齢者データベースを用いて、第1に個人のソーシャル・キャピタルが高齢期の健康、well-being に対してどのような影響を与えるのか多面的に明らかにすること、第2に地域レベルのソーシャル・キャピタルと個人レベルのソーシャル・キャピタルが well-being へ与える影響を明らかにするため、マルチレベル分析によるデータ解析を進めた。また、量的データによる分析だけでは捉えきれないソーシャル・キャピタルの影響のメカニズムや個人差を検討するためにインタビュー調査を実施し、テキストマイニングのソフトを使用して、質的データの解析を進めた。分析の結果、主に以下のことが明らかになった:(1)ソーシャル・キャピタルとコミュニティ感覚(地域に対する愛着等)は高齢期の健康を促進する効果があること、(2)ソーシャル・キャピタルはコミュニティ感覚を媒介して、高齢期の生活満足感や人生満足度の上昇にも寄与していること、(3)このメカニズムは年齢群に関わらずー貫しているが、より高齢になるほどソーシャル・キャピタルの影響力が高まること、(4)ソーシャル・キャピタルが well-being に影響を与えるメカニズムには性差があること、(5)個人レベルのソーシャル・キャピタルだけでなく、地域レベルでのソーシャル・キャピタルが高齢期の well-being を促進していることが明らかになった。また、健康寿命には認知機能の維持も重要であるが、(5)ソーシャル・キャピタルは高齢期の社会参加活動を促進し、それが認知機能の維持に関与することが明らかになった。これらの結果は其々、日本老年学会、日本老年社会科学会、国際老年・老年医学会等で研究発表し、日本老年学会、日本老年社会科学会において優れた研究として表彰された。

2. 研究成果実績の概要(英訳)

The purpose of this study was to examine effects of social capital on physical and mental health as well as well-being among older adults. In this fiscal year, especially, we examined the relationship and the direction of the relationship between social capital, health, and well-being, and we examined effects of community-level social capital as well as personal-level social capital on well-being among older adults, using data from the longitudinal study including about 1400 older adults aged 75±1, 80±1, and 85±1 years at the baseline. Moreover, we conducted the depth interview with older adults to examine more deeply the factors and the process of making the interpersonal differences on the relationship between social capital, health and well-being. Results showed that social capital and sense of community such as attachment to community were related to better health, and that social capital played a significant role to enhance well-being through sense of community. And then, social capital and sense of community were more strongly associated with higher life satisfaction and lower isolation among older adults in their 80's than those in their 70's. Moreover, community-level social capital as well as personal-level social capital were significantly related to well-being. Furthermore, social capital played a significant role to maintain cognitive abilities, which were important to healthy aging, through participation of social activities. We reported these results at the meetings of 2017 IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, The Japan Gerontological society, Japan Socio-Gerontological Society, and Japanese Psychogeriatric Society. We got awards at The Japan Gerontological society and Japan Socio-Gerontological Society.

3. 本研究課題に関する発表					
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)		
Takayama, M., et al.	Social Capital, Health, and Subjective Well-Being among Older Adults aged 75+	the 21st IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics	July 23-27, 2017		
Sugawara, I., Takayama, M., et al.	Neighborhood Social Support and Companionship among the Very Old Living in an Urban Area in Japan	the 21st IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics	July 23-27, 2017		
Niimura, H., Takayama M., et al.	A cohort study of the oldest-old in Japan	13th European Union Geriatric Medicine Society (EUGMS) Congress	September 20-22, 2017		
髙山 緑・他6名	後期高齢期における幸福感、地域 への意識、地域環境との関係性	第 30 回日本老年学会総会	2017年6月14-16日		
高山 緑・他3名	後期高齢期における精神的健康と 地域環境との関係性:マルチレベ ル分析を用いて	第 32 回日本老年精神医学会	2017年6月14-16日		

石岡良子·高山 緑·他4名	都市部に在住する後期高齢者の家 庭での役割行動の評価尺度	第 59 回日本老年社会科学会大会	2017年6月14-16日
石岡良子·高山 緑·他4名	後期高齢者の生活に対する将来展望と認知機能との関連	日本心理学会第 81 回大会	2017年9月20-22日
高山 緑	超高齢者の研究から: 高齢期の知 的能力と環境	2017 年度日本教育心理学会主催公開シンポジウム:加齢に伴い向上・維持する能力を発掘する	2017年12月3日
Iinuma, T., Arai, Y., Takayama, M.,et al.	Satisfaction with dietary life affects oral health-related quality of life and subjective well-being in very elderly people	Journal of Oral Science, 59(2), 207–213	2017
Arai, Y.	The prevalence and risk factors of dementia in centenarians	Brain Nerve, 69(7), 771-780	2017
Arai, Y.	Aging and homeostasis. Biomedical peculiarities of semi-supercentenarians	Clin Calcium, 27(7), 969–974	2017